



水の「におい」を検査する



神奈川県企業庁 三宅 心
(令和7年度抄録委員会委員)

1. 水のにおいとは

水の「におい」で想像するものといえば、海風に乗ってくる磯のにおいや金魚鉢の水のにおいなどを思い浮かべるのではないのでしょうか。水道水からは通常、そのようなにおいを感じることはありませんが、これは水道水が異常なおいがないか確かめる検査に合格しているからなのです。

2. においの検査

水道水は、水道法第4条に基づき、「水質基準に関する省令」で規定する水質基準に適合することが求められています。水道水のにおいについては、水質基準の1項目である「臭気」として、「異常でないこと」と定められています。「臭気」の検査では、検査員が鼻で嗅いで塩素臭以外の異常な臭気がないことを確認します。また、「臭気」の異常は、その水の汚染状態などを知るヒントになります。

3. 「臭気」の原因は？

「臭気」の異常には様々な原因があります。原因となる物質は有機物であることが多く、例えば、藍藻類が産生する2-MIB やジェオスミンはかび臭の原因になります。

ほかにも、鉄さびなどの無機物が原因となることもあります。

区分	種類	原因
芳香性臭気	芳香臭	揮発性有機化合物、珪藻類 等
	きゅうり臭	黄藻類、渦鞭藻類 等
植物性臭気	藻臭	珪藻類、緑藻類 等
土臭・かび臭	土臭・かび臭	藍藻類 等
魚臭・生ぐさ臭	生ぐさ臭	黄金藻類、緑藻類、魚卵 等
薬品性臭気	フェノール臭	フェノール類 等
	玉ねぎ腐敗臭	シクロヘキシルアミン 等
	油様臭	ガソリン、軽油 等
金属臭	金気臭	鋼管のさび（鉄） 等
腐敗性臭気	腐敗臭	海綿動物、ニマイガイ類、魚卵 等

4. 現在の対策

現在は、粉末活性炭処理、粒状活性炭処理、オゾン処理などの高度浄水処理の導入が進んでおり、水のにおいに対するお客様からの苦情件数は減少しています。また、水源から浄水場を経て蛇口まで一貫した水質検査を行うことで、においのない良質な水道水を確保しています。